

## 令和5年度 備前保健所運営協議会 議事録要旨

日時：令和5年10月17日（火）14：00～15：30

場所：備前保健所4階会議室（ハイブリッド）

### ○事務局から資料を用いて説明

#### 【会長】

難病患者の要配慮者支援の部分で、個別シートの作成者数が、備前市、赤磐市、和気町はゼロになっている。計画は、実際に人工呼吸器等電源が必要な方について、災害時には電源を具体的にどうするか等含めての情報だと思うが、これは必要性がないから作成されていないのか、コロナの影響等で調査が出来ていないのか。

#### 【事務局】

基本的には対象者全員と面接しているが、中には病気の受容が出来ていないとか、計画まで立てるのは遠慮したいと、辞退される場合もある。引き続き、声掛けをするなどして、災害時に対応が出来るような備えをしてまいりたい。

#### 【会長】

医師会、行政と相談しながら災害時の対策を立てる際には、こういう方を第一優先すべきだと思う。また、いざというときに、こういった（要配慮者の）情報をどこから手に入れば良いかの周知も重要。引き続き、対応をお願いしたい。

薬物乱用防止の駅前でのキャンペーンについて、私も和気駅で参加したことがある。若い人によれば、最近は本人が入手しようと思えば、大麻はどこでもすぐに手に入るそうだ。芸能界や特別な環境の方々ではなくとも、日常的に身の回りにあるということ。海外旅行先で気軽に使用してしまうこともあるだろう。30歳未満の検挙者が非常に増加しているので、先ほど話もあった高校の文化祭等で引き続き周知願いたい。一方、覚醒剤は高齢者の依存者が多く、犯罪を何度も重ねる現状もあるため、若いうちに芽を摘まなければいけない。今後も保健所に頑張っていただきたい。

委員からの質問はないようなので、順番にコメントをお願いします。

**【委員】**

いつも心と体の健康支援で赤ちゃんとのふれあい体験等をしている。今年度もしっかりとやっていて、良い経験をさせていただいている。

**【委員】**

栄養成分表示の店登録事業について、登録が伸び悩んでいるように思う。店側のメリット等をもう少し明確に提示いただけると、さらに進むのではないか。客にとっても、成分表示は生活習慣病予防等に繋がるため、この事業をきちんと進めていければと思う。

ノロウイルスの食中毒対策について、その8割が、調理従事者が原因となっているが、給食施設での検便検査等は進んでいるのか。ノロウイルスの検体は取扱が面倒かつ検査の金額が高いため、中々普及しないのではと懸念しているからだ。

**【事務局】**

給食施設等であれば大量調理施設衛生管理マニュアルを基に取り組んでいただいている。また、大型の給食施設や弁当施設については、年に1～2回重点的な監視指導を実施しており、この際にも確認している。概ね検査については周知・実施できていると認識している。

**【委員】**

幼児から高齢者まで、各年代の課題に合わせ、食を通じた健康づくりを実施している。例えば小児では朝食をしっかりと食べようとか、高齢者は低栄養予防をしようとか、そういった活動で関与しているところ。

**【委員】**

様々な事業がコロナ前の状況に近づいていて、嬉しく思う。

水質検査について質問したい。水道水の検査結果によって事業者に指導をしていると話があった。県外でも食中毒があったり、水の問題があったりというニュースも聞くが、岡山県内でどのような問題があるか教えていただきたい。

**【事務局】**

水質に関しては、水道法の中で基準が定められている51項目があり、これは必ず遵守すべきもの。各水道事業者は定期的に水質検査をして安全を確保する責任がある。

食中毒に関連して、井戸水を使用している飲食店もあるが、この場合も水道法に則って検査を実施した上で提供が許可されている。

現在指導している内容については、法定の51項目より一つ下の段階の注意を要する項目の目標値を超える値が検出されたというもの。

【委員】

自分たちは健康づくりのボランティアだと思って活動している。今回の協議会に出席し、地域にこんなことを広めたいという考えがまた大きくなった。

【委員】

子育て支援について、保育園は保護者と顔を合わせて話をする機会が多い。子供の発達や様子等こまめに知らせたりする中で、保護者の悩みや想いに寄り添いながら活動したいと思う。様々な活動を通して、地域の保護者とコミュニケーションをとりながら、子育て支援をしていきたい。

【委員】

これからコロナウイルスやインフルエンザ等の流行対策も必要となってくる時期であり、呼びかけなどしていきたい。口腔内から様々な疾患になることは多く、歯科の先生方にも大変お世話になっている。関係者の皆様には今後ともよろしくお願ひしたい。

【委員】

感染症予防については、コロナが5類になってから学校内での意識が下がっているように感じる。引き続き、呼びかけ、取組を実施してまいりたい。  
健康教育については、性教育や薬物乱用についての教育にも取り組んでいるが、やはり専門家の知見が必要なことも多いため、引き続き連携をお願いしたい。

【委員】

しばらくぶりに地域のイベントを開催することとなっている。薬物乱用防止について、ポスターを掲示したりという活動を引き続き実施していきたい。また、感染対策について、冬に向けて、地域の学校での換気などによる感染対策指導をお願いしていきたいと思う。

【委員】

各種健診や啓蒙活動で行政と関与している。今年度から市と連携して、新たな取組も実施している。保健所内に、歯科保健について連携しやすい部署があれば良いと感じる。

【委員】

備前保健所とは複数の会議で意見交換をするなどして、関与している。その中で、普段中々触れることがなかった分野の話聞く機会があった。一見、関連性がなさそうに思えるが、違う視点や意識を持って活動していくことが重要だと感じた。地域で起こっていることをよく知ることができ、大変勉強になった。

**【委員】**

水質検査に関連して、異常値が検出された際に住民の不安が大きいと思うが、例えばその物質が何なのか、それに対してどう対策するのか等について、保健所の意見を伺いたい。

**【事務局】**

町の担当者と十分に連携して、住民の方々が安心できるようなサポートを行い、少しでも早く、安心・安全な水が飲めるように、町の取組について支援してまいりたいと考えている。

**【委員】**

大麻をはじめ様々な薬物が全国的にも蔓延しているように感じる。  
薬物乱用防止については重要な課題と捉えており、引き続き関係機関と連携しながら、対策を推進したい。

**【委員】**

救急医療について、遠方からの搬送事案もあるが、事業を活用するなどして状況が変化してきている。デジタル技術を活用した新たな取組もあり、今後に期待したい。

**【委員】**

こども家庭庁が設置され、こどもに関する様々な事業に力を入れている。  
それから、医療計画について、地域の医療機関についてなど様々な課題があると思うので、しっかりと策定をお願いしたい。  
地域包括ケアシステムについての取組や、障害者の支援をさらに行っていきたいと思うので、協力をお願いしたい。

**【委員】**

地域のこどもに関する事業には力を入れている。少子化対策は課題となっているが、本日の話の中で、様々な母子保健事業が展開されていることを聞き、有効な施策だと感じた。  
引き続き、連携をお願いしたい。

以上